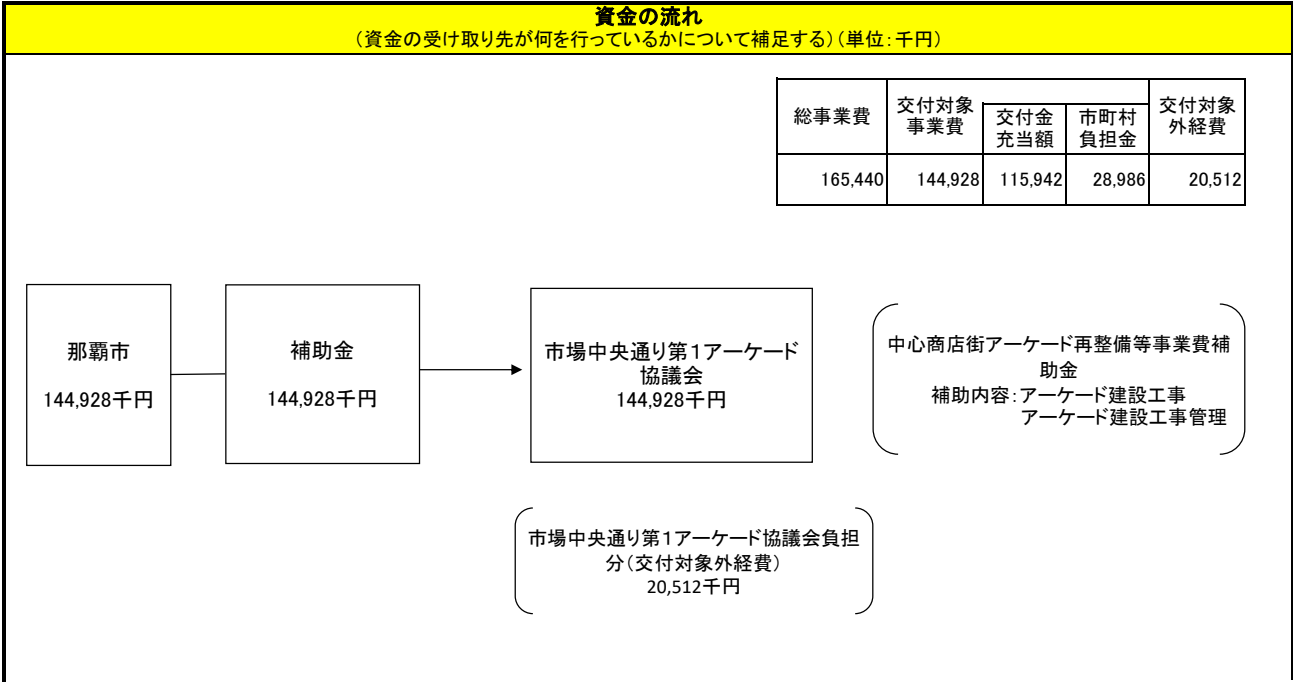


市町村名		那覇市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-12	第一牧志公設市場再整備推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(1)-(イ) 地域・産業間連携による「稼ぐ力」と 域内自給率の向上			
担当部課名	経済観光部 なはまち振興課		事業実施 (予定)年度	平成26～令和5 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することで、第一牧志公設市場を含めた中心市街地の賑わいの維持及び観光客の誘客を図る。市場再整備に伴い撤去された市場中央通り第1アーケードの再整備補助を実施。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(令和 年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	R5年度(繰越)	
	予算の 状況	(a)当初予算額	149,944			25,593	128,480	
		(b)予算現額	149,944			29,586	144,928	
		(c)増減額(b-a)	0		0	3,993	16,448	0
		(d)繰越額			6,900			144,928
		A. 計(b+d)	149,944		6,900	29,586	144,928	144,928
	B. 執行済額		142,989	6,769	29,580	0	144,928	
	うち交付金充当額		114,391	5,419	23,664	0	115,942	
	次年度繰越額		6,900	0		144,928	0	
	執行率(%) (B/A)		95.4%	98.1%	100.0%	0.0%	100.0%	
予算の状況の説明		建築資材の高騰に伴う建築工事費の増による補助率増変更のため、6月補正で予算16,448千円を増額した。アーケード建設工事において、地中に想定されていない埋設管があり、工事の施工方法の見直し等に不測の日数を要し年度内の事業完了が困難となったことから144,928円を繰越し、令和6年度に完了した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況			達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	アーケード再整備補助の実施	目 標				アーケード再整備補助の実施	アーケード再整備補助の実施	
		実 績				アーケード再整備補助の実施	アーケード再整備補助の完了	
		目 標						
		実 績						
達成状況説明	アーケード再整備については、地中に想定されていない埋設管があり、工事の施行方法の見直し等に不測の日数を要したことから、繰越し令和6年8月にアーケードが完成し、再整備補助を完了した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)	
	アーケード再整備補助の実施	目 標	()	()	アーケード再整備補助の実施	アーケード再整備補助の実施		
		実 績			アーケード再整備補助の実施	アーケード再整備補助の完了		
	新市場への年間来訪者数目標	目 標	()	()		(256万人)		
		実 績				184万人		
	進捗状況説明	アーケード再整備については、地中に想定されていない埋設管があり、工事の施行方法の見直し等に不測の日数を要したことから、繰越し令和6年8月にアーケードが完成し、再整備補助を完了した。年間来訪者数は、過去の実績値を参考に設定した目標値256万人に対し、実績値184万人となり約72%の達成率となった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(アーケード再整備補助の実施) 市場再整備に伴い撤去された市場中央通り第1アーケードの再整備補助が完了した。今後は、市場を含めた中心商店街の賑わいの維持及び観光客の誘客向上を図る取組に力を入れる必要がある。 (新市場への年間来訪者数目標) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、来訪者の増加を期待していたが、目標達成には至らなかった。今後も目標達成のため誘客の取組が必要となる。	(アーケード再整備補助の実施) アーケードは、沖縄の強い日差しから歩行者を守り、雨天時でも快適な歩行空間を形成するだけでなく、独特な賑わいを有する商業環境を創り出すマチグラーの魅力向上に寄与する観光資源である。今後も観光拠点性を高めるための取組を市場や周辺商店街と連携していく。 (新市場への年間来訪者数目標) 市場への来訪者数の増加、中心商店街の賑わいの維持及び観光客の誘客向上を図るために、市場事業者や周辺商店街と連携し、市場の魅力発信を強化する。
	今後の取り組み方針	
	(アーケード再整備補助の実施) 市場や周辺商店街と連携した周年イベントの実施等、アーケード下の空間を活用したイベントに向けて取組を行う。 (新市場への年間来訪者数目標) 市場への来訪者数の増加、中心商店街の賑わいの維持及び観光客の誘客向上を図るため、市場事業者や周辺商店街との連携及び市場の魅力発信を継続していく。今後は、沖縄の食文化の継承・発展する市場を目指すとともに、マチグラーの観光拠点施設として、多くの観光客を誘客するために、体験型イベントや情報発信等に取り組んでいく。	



	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、点 検、 費目・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○第一牧志公設市場の再整備に伴い撤去された市場中央通り第1アーケードの所有者で組織した市場中央通り第1アーケード協議会を補助事業者としていることから、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については見積書を徴収しその執行率から、適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本事業の公共性・公益性の高さ、他団体による一定の負担割合や事業内容より、負担関係は妥当と考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものであるかどうか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。

市町村名	那覇市							
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-21	歴史散歩道整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(イ)		
担当部課名	都市みらい部 道路建設課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革			
事業内容	沖縄らしい魅力的な観光地およびまちづくりのため、景観に配慮した路面改良、快適に回遊できる歴史散歩道を整備することを目的とし、琉球王国時代の幹線道路である「真珠道」を整備する。その「真珠道」の一部として、観光客等が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、多くの史跡が現存する山下町地域に歴史散歩道を整備する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和7年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	30,000	10,000	57,800	70,400		
		(b)予算現額	27,685	9,987	57,800	75,378		
		(c)増減額(b-a)	▲2,315	▲13	0	4,978		0
		(d)繰越額	0	0	0			44,439
		A.計(b+d)	27,685	9,987	57,800	75,378		44,439
	B.執行済額		26,191	9,987	57,800	30,939		44,439
	うち交付金充当額		19,379	7,989	46,240	24,751		35,551
	次年度繰越額		0	0	0	44,439		
	執行率(%) (B/A)		94.6%	100.0%	100.0%	41.0%		100.0%
予算の状況の説明		工事実施の際に、側溝の施工に支障となる排水設備が確認され、排水設備の撤去復旧工事を追加施工するため、不足となる工事請負費を増額した。また側溝の整備において、給水管が当初想定していた位置より浅く埋設されており、支障となったため、上水道との調整および給水管の移設に不測の日数を要し、年度内での事業完了が困難となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	歴史散歩道の整備:道路整備工事 (整備路線:山下山線外1路線)	目 標	道路整備:識名4号外2路線	道路整備:識名上間北線	道路整備:山下町地内	道路整備:山下町地内		
		実 績	道路整備:識名4号外2路線	道路整備:識名上間北線	道路整備:山下町地内	道路整備:山下町地内		
	本事業による整備した道路について、観光客へ観光地としての魅力が向上したか(80%以上)を成果目標とした。アンケート調査の結果は(90%以上)となっており、本事業の成果目標を達成した。	目 標						
実 績								
達成状況説明	山下町地内において歴史文化財に隣接する散歩道の路線の一部について琉球石灰岩石張り舗装を整備することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
	本事業により、整備を行った歴史散歩道(山下町地内)について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を検証する。	目 標	()	(8割以上)	(8割以上)	(8割以上)	(8割以上)	
		実 績		9割	未実施	未実施		
	本事業による整備した道路について、観光客へ観光地としての魅力が向上したか(80%以上)を成果目標とした。アンケート調査の結果は(90%以上)となっており、本事業の成果目標を達成した。	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明	山下町地内において歴史文化財に隣接する散歩道の路線の一部について琉球石灰岩石張り舗装を整備することができた。 なお、R7年2月に完了したため、R6実施予定であったアンケート調査をR7年度に実施予定である。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・琉球石灰岩石張舗装を整備し、歴史散歩道に相応しい歩行空間を確保することができたため、目標値を達成できたと考えられる。	・沖縄らしい雰囲気が出ているという意見もあり、より周知するため今後も案内説明板の設置を検討したい。
今後の取り組み方針		
・石張舗装の整備と同様に、案内説明板は国内外の人々が那覇の歴史に触れるために必要な情報であることから設置に努める。 ・整備完了した路線については、現地案内板だけでなく、ホームページ等による案内を行い、利用促進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金充当額</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr> <tr> <th>市町村負担金</th><th></th></tr> <tr> <td>75,378</td><td>75,378</td><td>60,302</td><td>15,076</td><td>0</td></tr> </table> 那覇市 75,378千円 委託料 715千円 一般社団法人建設物価調査会沖縄支部 715千円 令和5年度 歴史散歩道整備工事(山下町地内) 価格調査業務委託 工事請負費 74,663千円 (株)野原建設 6,187千円 令和4年度 歴史散歩道整備工事(山下町地内) (株)郷建設 68,476千円 令和5年度 歴史散歩道整備工事(山下町地内)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	市町村負担金		75,378	75,378	60,302	15,076	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費												
		市町村負担金														
75,378	75,378	60,302	15,076	0												
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負費の執行にあたっては、一般競争入札方式等により業者を選定しており、妥当であったと考えている。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適正な規模であったと考えている。													
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目及び使途の事業目的については、予算執行伺及び工事完了検査等において確認しており、適正であったと考えている。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	那覇市						
令和5年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-18	共生・多様性実現事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－2－(6)－(イ)	
担当部課名	まちなみ共創部 建築工事課		事業実施（予定）年度	令和4年度～令和9年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域コミュニティの活動支援 Ⅲ－3－1	
事業内容	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対処できる社会を形成する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度（令和10年度以降）						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 ■その他（設計・建設・維持管理の一括発注）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R3年度	R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）
	予算の状況	(a) 当初予算額		5,840	0	39	0
		(b) 予算現額		5,840	0	39	0
		(c) 増減額 (b－a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額		0	5,840		39
		A. 計 (b+d)	0	5,840	5,840	39	39
	B. 執行済額			0	5,840	0	39
	うち交付金充当額			0	4,672	0	31
	次年度繰越額			5,840	0	39	0
	執行率（％）(B/A)		#DIV/0!	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
予算の状況の説明		令和5年度は、設計・建設・維持管理を一括して発注する方式で、発注・契約し、事業説明会の実施を予定していたが、関係者との調整を踏まえた事業計画の変更により繰越となった。令和6年度に入り、業務を完了し予算の執行を行った。					
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	地域事業説明会の実施	目 標			移設計画策定	地域事業説明会の実施	
		実 績			移設計画策定	地域事業説明会の実施	
	債務負担行為設定による事業契約	目 標				事業契約締結	
		実 績				事業契約締結	
達成状況説明	令和5年度は、設計・建設・維持管理を一括して発注する方式で発注・契約し、事業説明会の実施を予定していたが、関係者との調整を踏まえた事業計画の変更により令和6年度に繰越することになった。令和6年度に入り、契約を締結、地域事業説明会を実施し、目標を達成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
	地域事業説明会の実施	目 標	()	()	(移設計画策定完了)	(地域事業説明会の実施)	()
		実 績			移設計画策定完了	地域事業説明会の実施	
	事業契約の締結	目 標	()	()	()	(事業契約の締結)	()
		実 績				事業契約の締結	
	進捗状況説明	令和6年度に事業契約を締結したのち、地域事業説明会を実施し、事業の内容・スケジュール等を説明し、意見を伺うなど、事業について地域住民に周知することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 関係者との調整を踏まえた事業計画の変更時間に時間を要し予定より遅れることとなった。 - 次年度は、施設の基本設計を行うことから、関係者との調整が必要となる。	関係者及び対外調整に必要な条件整理及び課題の具体化により、調整及び検討に要する時間の短縮に取り組むことが必要。
今後の取り組み方針		
関係者及び対外調整を早い段階で行い、条件、課題の認識のすり合わせ、共有を行うことで方向性や検討事項を絞り込み、調整及び検討時間の短縮に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>21,224</td><td>39</td><td>31</td><td>8</td><td>21,185</td></tr> </table> <pre> graph LR A[那覇市 39千円] --> B[公有財産購入費 39千円] B --> C["(株)WELLNA MAWASHI 39千円"] C --- D["(交付金対象外経費) 委託料 20,988千円 公有財産購入費 197千円"] C --- E["地域事業説明会経費"] </pre>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	21,224	39	31	8	21,185
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
21,224	39	31	8	21,185										
資金使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業費は全額執行しており適正な規模であったと考えている。 ○費目、使途については、事業目的に即して実施しており、適正であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												